

達古武地域における森林再生 ベースマップの作成と保全・再生優先度の検討 (4/10)
 3 - 2 . 完成したベースマップ (Ver.20030304) 森林区分図

森林部分について、樹木のサイズで3段階、うっぺい度で3段階に分けて評価し、空間的に区画分けをした。
 樹木サイズ大(樹高20m以上)は本地域では非常に少なく、釧路川沿いなどで確認されただけだった。
 中サイズ・密(樹高10-20m、樹冠うっぺい率80%以上)がもっとも多く確認された森林で、30年程度前に植栽や萌芽更新により成立した林が多いことを示している。

森林区分の基準

樹木サイズ区分	樹高基準	推定樹齢	うっぺい度区分	うっぺい度	立木密度 (10m×10mあたり)	調査地点番号
大	20m以上	50年以上				24・28・45
中	10～20m	30(20)～50	密	80%以上	6～11本	8・10・25・27・29・34・39・40・49・50・53
			中	50～80%	5～9本	2・3・4・12・15・20・22・23・33・35・36
			疎	50%以下	5本以下	9
小	2～10m	10～30(20)	密	80%以上	15～20本	1・7・21・31・37・38・41・42・44・46
			中	50～80%	10～15本	13・16・52
			疎	50%以下	3～9本	11・14・18・30・32・47
幼齢造林地	2m未満	10年未満				51
非林地	2m未満			20%未満	3本未満	17・19・26・43・48

面積

樹木サイズ区分	うっぺい度区分	面積 (ha)	比率
大		17	0.4%
中	密	1103	26.3%
	中	765	18.2%
	疎	23	0.6%
小	密	664	15.8%
	中	335	8.0%
	疎	223	5.3%
非林地		1069	25.5%

大 0.4%

中 48%

小 29%



中サイズ・密の例(地点49)
 優占種ミズナラ 樹高11m



小サイズ・密の例(地点37)
 優占種シラカバ 樹高7m



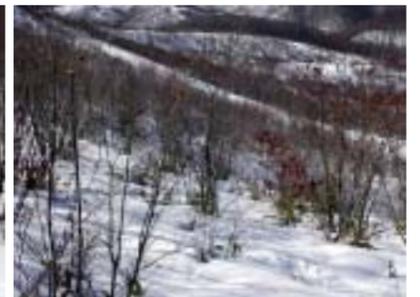
中サイズ・中密度の例(地点36)
 優占種ミズナラ 樹高14m



小サイズ・中密度の例(地点13)
 優占種ハルニレ 樹高8m

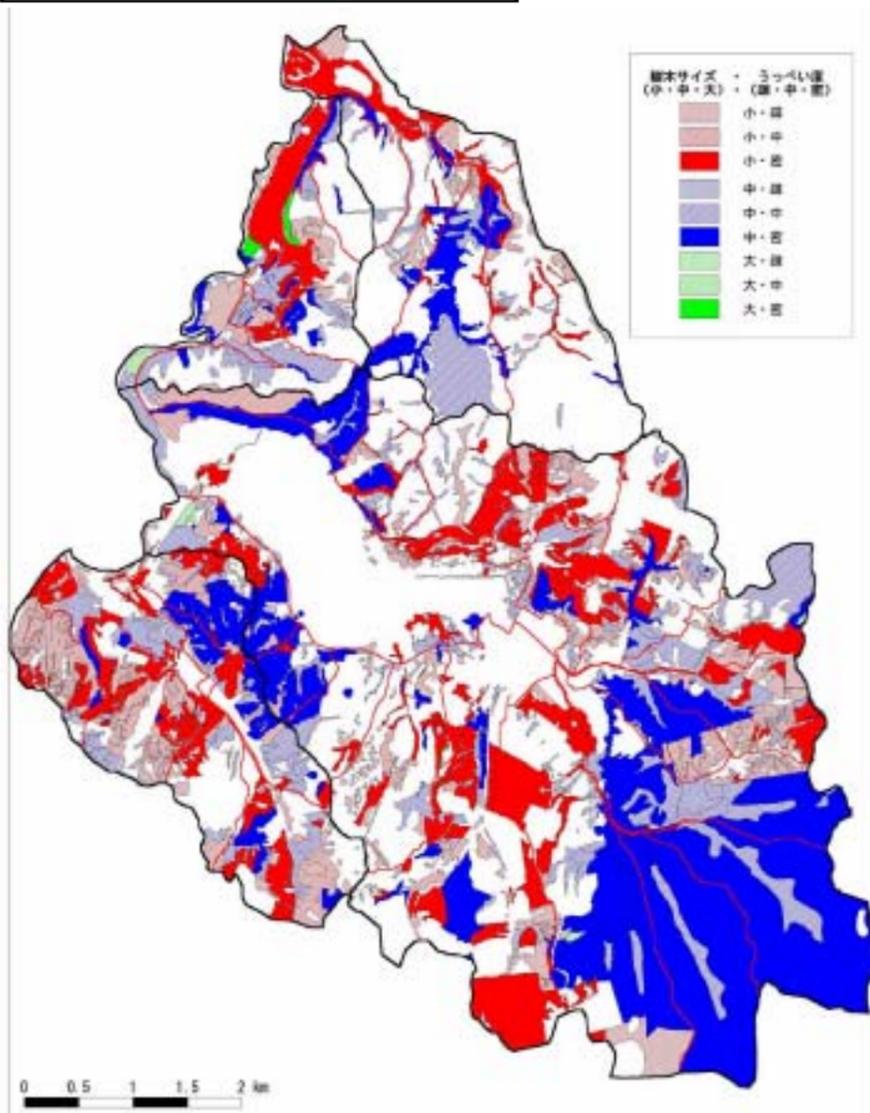


中サイズ・疎の例(地点49)
 優占種ハンノキ 樹高12m



小サイズ・疎の例(地点37)
 優占種ミズナラ 樹高3m

自然林・二次林の森林属性区分



人工林の森林属性区分

